

フオークソングで幸せ&喜び

5周年の歌声 あなたへ

満月堂 あす、宇治で感謝祭

古き良き70年代のフオークソングを高らかに歌う地元の熟年バンド「満月堂」が10月で結成5周年を迎え、あす10日に宇治市生涯学習センターで感謝祭を開く。ライブデビューから支えてくれた人々へ、あふれる「ありがとう」。会場と一体となったステージを楽しんでもらいたい」とメンバーたちは張り切っている。

満月堂は、学生時代に音楽活動をしていた4人の男性たちが同じ職場で出会い、産声を上げた。当初は宴会芸の延長で演奏をしていたが、仕事帰りに繰り出したカラオケでフオークソング限定で4時間「に挑戦したこと」がきっかけで、一人ひとりが心の奥底で温めていた「生演奏の魅力」に火がついた。

ライブデビューは04年10月23日、小倉町にあったコーヒールーム「はれつ」と「現在は伊勢田町に移転」でのステージ。それ以来、ライブハウスの飛び入りステージ、ショッピングモールのピロティなどで3カ月に1回ライブ活動を続け、演奏依頼も相次いだ。07年3月には、第1回「FOREVER FOLK i

n UJI」にも出演。転勤などでメンバーの入れ替えはあったが、現在はろっぽろ、まっちゃん、いげさん、ゆうさんの4人で心に染み入る懐かしのメロディーを届けている。発表曲は70年代フオークがメインだが、地元イベントなどで根強い人気を誇る「宇治物語」などオリジナル曲も披露し、音楽に厚

みが増した。5年の歩みを振り返り、改めて実感したことは「フオークソングはうる覚えでも頭に残っているもの。学園祭や卒業式、恋人と行った喫茶店：などそれぞれの曲に思い出があるんだよ」。手作りのステージを見て再びギターを手に取るようになった人、かけがえのないあの頃をともに過ごし



【各地で精力的にライブ活動を展開する満月堂のメンバーたち】

たメロディーに感極まって涙を流す人、「音楽で自分たちも楽しみ、誰かに喜んでもらえる」充実感が、満月堂の原動力だ。「幸せな思い」の余韻

に浸り、メンバーたちは「人とのつながりを大切に皆さんに喜んでもらい、これからも趣味として音楽を続けていきたい」と話す。10日の感謝祭は午後

1時15分から4時まで同センター第1ホールで開催。入場無料。